

平成 29 年 1 月 16 日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

地元町内会役員、市議会議員、報道関係者を対象に
豊川市資源化施設内覧会を開催

現在、本市では豊川市資源化施設の整備を進めております。
施設はほぼ出来上がっており、2月からはごみや資源の搬入を行い、試運転を
始めます。
その後、3月に完成、引渡しを受ける予定となっております。
試運転開始前に、関係各位に安全な状態で細部を見学していただけるよう、下
記の日程にて内覧会を開催いたします。

記

- 1 開催日時 平成29年1月20日（金曜日）午前10時から
- 2 会 場 豊川市資源化施設
豊川市長草町美佐々木、川向地内（別紙位置図参照）
- 3 対 象 者 長草町内会役員、市議会議員、報道関係者、市職員
- 4 施設概要 別紙のとおり
- 5 そ の 他 今回のご案内は関係者のみとさせていただきます。
当日は職員による案内となります。
パンフレットなどはありません。
一般の方の見学は、4月以降にお受けいたします。

【お問合せ先】

豊川市役所 環境部 清掃事業課 森下・林
TEL:0533-89-2166 Eメール: seiso@city.toyokawa.lg.jp

豊川市資源化施設の概要

平成29年1月16日

豊川市環境部清掃事業課

1 豊川市資源化施設の構成施設及び目的

(1) 刈草・剪定枝処理施設

これまで焼却していた刈草・剪定枝を破碎し、チップや堆肥として利用することにより、清掃工場における焼却量を削減します。

(2) 不燃ごみ・資源選別施設

既存施設の老朽化に伴い、機能維持のために更新するものですが、不燃ごみと資源選別施設を一括して整備することにより、設備や作業の効率化を図ります。

(3) 古紙古布ストックヤード

回収された古紙、古布を分別、異物除去、保管し、良質な資源として売却します。

2 整備施設概要

(1) 刈草・剪定枝処理施設	処理能力	4,000 t / 年 (刈り草 2,500 t、剪定枝 1,500 t)
	施設構成	・機械設備 破碎機、自動攪拌装置、ふるい機、脱臭設備
(2) 不燃ごみ選別施設	処理能力	1,500 t / 年
	施設構成	・機械設備 破碎機、磁力選別機、手選別コンベア脱臭設備
(3) 資源選別施設	処理能力	びん 1,300 t / 年 缶 540 t / 年
	施設構成	・機械設備 手選別コンベア (びん) 磁力選別、簡易プレス機 (缶)
(4) 古紙古布ストックヤード	取扱量	紙類 8,000 t / 年 布類 800 t / 年
	施設構成	・保管倉庫 約 700㎡

3 建設地

(1) 建設地	豊川市長草町美佐々木・川向地内
(2) 敷地面積	約 15,000㎡

4 事業費 (用地費を除く)

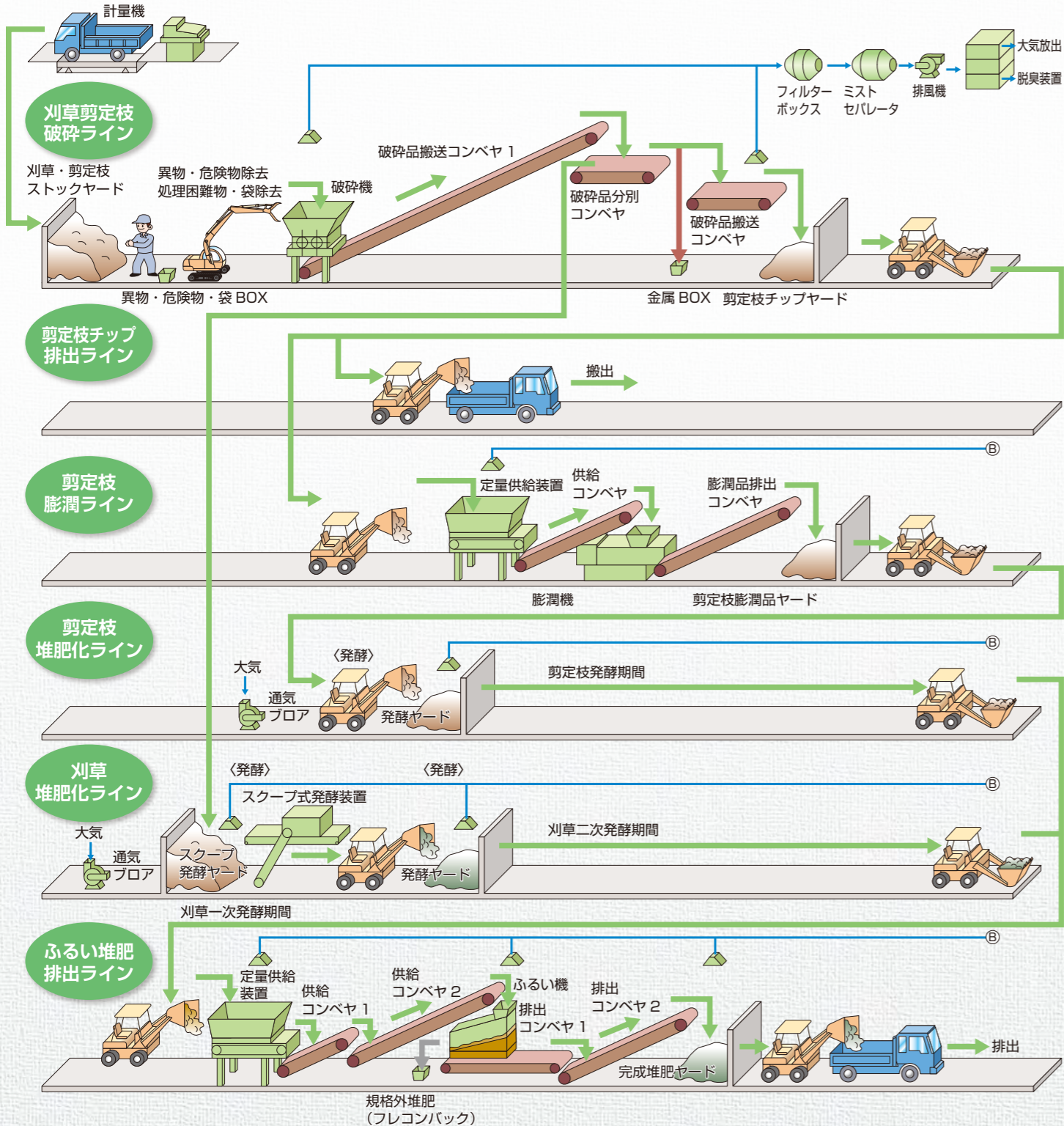
(1) 建設費	1,614,334千円
(2) 設計施工監理費	34,020千円

豊川市資源化施設 位置図

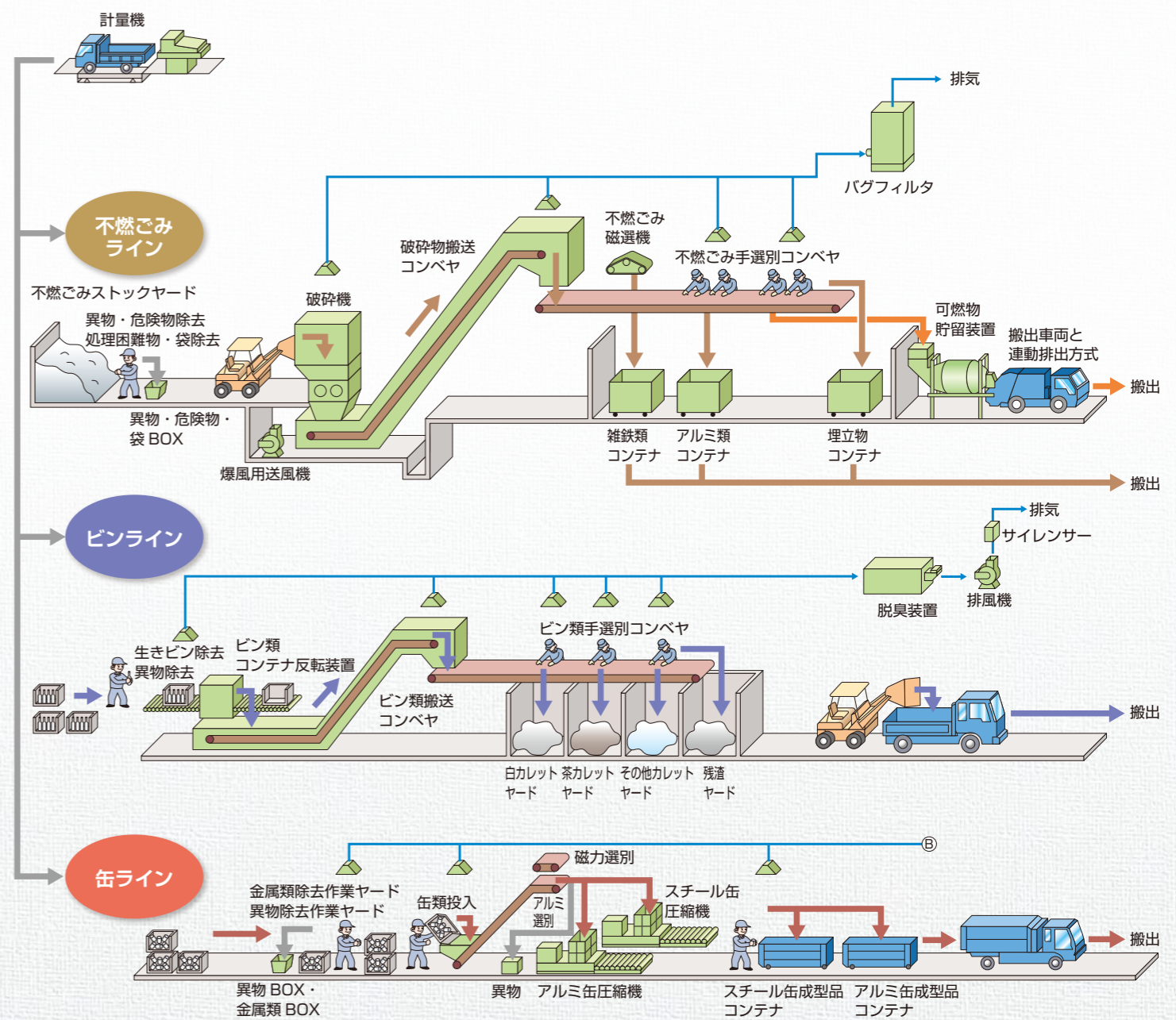


分別されたごみの中から、大切な資源を選別・回収します。

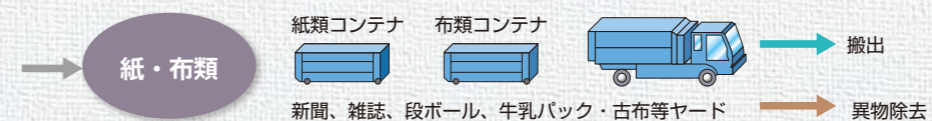
刈草剪定枝破碎堆肥化施設の流れ



不燃ごみ・選別及び資源選別施設



古紙古布ストックヤード



再製資源の利用方法

さまざまな商品として生まれ変わります。

回収された資源ごみは、再生工場で再生原料になり、メーカーを通して再び新しい製品に生まれかわります。

